

令和4年度 第1回 宗谷管内学力保障会議

目的 児童生徒の学力保障に向け、市町村教育委員会、学校、教育局等が一体となって取り組む目標等を決定する。
開催日 令和4年5月11日(水) 13:30~15:30 方法 Web会議システム(ZOOM)
参加者 ・宗谷管内教育委員会連絡協議会教育長部会学校教育部会 ・宗谷校長会 ・稚内市校長会
・北海道高等学校長協会道北支部 ・小・中学校教頭、主幹教諭(研修) ・宗谷教育局

【挨拶】

宗谷教育局長 山崎 義一

- ・今年度の宗谷管内教育推進の重点である「資質・能力を確実に育成する学力保障～OVER70の実現、12年間継続する学力保障～」の達成へ向けて、地域学校の実態に即した教育課程を編成・実施し、全ての児童生徒に確実に資質・能力を育成することを目指す。
- ・学校と家庭、地域住民と教育行政が一体となった「子どもの未来保障」の取組の推進を図る。



【説明】

宗谷教育局教育支援課長 千代 隆志

- 令和4年度「宗谷管内学力保障プラン」(案)について
 - ・総括的指標及び3つの柱の取組内容等について
 - ・重点的な取組(検証改善サイクルの確立、授業改革)
- 取組の検証について
 - ・評価の時期、対象、方法、内容



協議 1

「令和3年度宗谷管内『学力保障プラン』」の検証について

・R4全国学力・学習状況調査自校採点結果、Sサポート、チャレンジテストに係る意見交換

- ・R4全国学力・学習状況調査実施後、全教員で自校採点を行い、分析を行った。全教員で分析を行うことで、教員の課題意識が変わってきた。
- ・算数・数学において課題があったが、重点的に改善を図った結果、昨年度より結果が向上している。
- ・これまで、アウトプットが弱い授業であった。今後は、子どもが主役の授業を行い、伸びしろ層の子どもがわくわくし、分かる授業を目指すことが大切である。

協議 2

「令和4年度宗谷管内『学力保障プラン』(案)」について

・重点に係る取組内容、目標及び総括的指標についての意見交流

- ・学校、教育委員会、教育局、それぞれの立場で取り組む重点事項が明確に示されている。
- ・重点Ⅱ「授業改革の推進」の中に、筋道を立てて説明するなどの言語活動を位置付けた単元の計画の見直しを追加している点がよい。子どもに身に付ける資質・能力が明確に示されている。
- ・子どもの学力向上に向けて、学校任せではなく、設置者である教育委員会が主体となり、学校をバックアップしていくことが大切である。
- ・「北海道における教員育成指標」を活用した教員の資質向上は、子どもの学力保障に直結する。

協議 3

「総括的指標の達成に向けた取組の推進」について

・管内全ての教育委員会及び学校、教育局における取組内容についての意見交流

- ・目標達成が「子どもの未来保障」につながる。宗谷の全ての子どものために、学校、教育委員会、教育局が一体となって「子どもの未来保障」を目指すことが重要である。
- ・OVER70の実現へ向けて子どもが興味をもてる授業改革が必要である。
- ・教育委員会として、教員の研修の場を設定することで、教員の指導力向上を図る。
- ・地域と一体となった家庭学習の機会も大切にしたい。



【まとめ～児童生徒一人一人の学力保障のために、学力調査問題の分析と学習指導要領の確実な実施を！！～】

義務教育指導監 小山内 仁

- ☆全国学力・学習状況調査の解説資料を十分に活用し、自校の傾向を分析するとともに、実効的な解決策について全教職員で検証を行う。
- ☆学習指導要領に基づき、児童生徒に資質・能力を確実に育成する検証改善サイクルを全ての教職員が主体となって実行する。



担当者から

本会議は、今年度から管内全ての教育委員会の教育長の皆様に御出席いただくこととなりました。協議の中では、「子どもの未来保障」のために、学校、教育委員会、教育局が一体となり、「オール宗谷」で取り組むことについて確認されました。宗谷の子ども一人一人のために、子どもを主役にした学力保障を目指したいと改めて思いを強くしました。
(義務教育指導班主査 中山 智洋)